

# 鉄道・バス等の 教材化を応援します！

実践校  
募集！

是非、ご応募ください！

〈詳しくは裏面を〉 

◆一校（小中高等学校など）につき、**15万円**まで応援します。

◆例えば、次のような学習を応援します。

 **電車・バスなどの公共交通、自転車、徒歩など身近な地域の交通について考える学習**

単元例 小学校3年（社会）：市の様子の変り変わり

 **クルマ社会の問題（渋滞・環境問題など）について考える学習**

単元例 小学校5年（社会）：我が国の工業生産

 **まちづくりと交通について考える学習**

単元例 高校（地理総合）：資料から読み取る現代世界（交通の発達）

 **交通を通じて自分たちの住む地域やふるさとについて考える学習**

単元例 小学校3年（社会）：身近な地域や市区町村の様子

 **その他、まち・環境・公共（政治や公民的資質、シティズンシップなど）と交通に関わる、様々な学習**

単元例 中学校（公民）：さまざまな国際問題（地球環境問題）

（資源・エネルギー問題 限りある資源と環境への配慮）

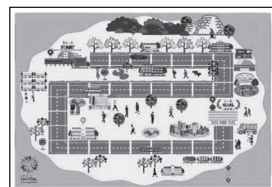
募集期限

令和7年

**6月14日**

（当日消印有効）

■交通すごろく



■エコモ環境BOOK



公共交通を  
題材にした  
道徳や  
マナー教育に

持続可能な  
社会の担い手を  
育む教育に

温暖化問題や  
大気汚染の  
教育に

**モビリティ・マネジメント教育実践のための情報交換会を開催します！**

「鉄道やバスを題材とした学習に取り組みたいけれど、進め方がわからない…」とお悩みの方は、  
2025年8月9日（土）開催の情報交換会（参加費無料）へぜひご参加ください！  
有識者や先進的に取り組んでいる教員の方などを講師としてお招きし取組事例の紹介や意見交換を行います。  
詳細は交通環境学習ポータルサイトよりご確認ください。



公益財団法人

交通エコロジー・モビリティ財団

## 【募集要項】

# 小中高等学校の教育課程において実施される 鉄道やバスなどを教材としたモビリティ・マネジメント教育※に関するものを募集します。

※モビリティ・マネジメント教育(略称: MM 教育、交通環境学習)とは、私たち一人ひとりの移動手段や社会全体の交通を、「人や社会、環境にやさしい」という観点から見直し、改善していくために自発的な行動をとれるような人間を育てる(力と育む)ことを目指した教育活動です。

### 支援 対象者

#### 小中高等学校の教員または、教員による研究グループ

(ただし申請にあたっては、校長の承認を得られていることを前提とします)

### 支援 内容

#### (1) 実施面での支援

- 当該地域の自治体や交通事業者などと連携の支援
- 教材や参考となるデータの提供などの支援

#### (2) 資金面での支援

##### ①支援対象経費

##### モビリティ・マネジメント教育の実施にかかる費用

講師謝金(外部の方に講演を依頼した場合)、旅費交通費、消耗品費、印刷製本費、図書資料の購入費など。注:カメラやビデオなどの汎用性のある機器は対象になりません。

##### ②支援限度額

##### 1校につき、15万円程度を限度とします。

ただし、5万円を上限として追加支援を認める場合があります。

詳細は募集要項をご確認ください。

#### (3) 支援期間：単年度限り

#### (4) 募集校数：15校程度

#### (5) 募集期限：令和7年6月14日(当日消印有効)

#### (6) 結果発表：委員会(7・8月開催予定)において選考を行い 文書にて通知します。

#### (7) 成果報告

助成を受けた方には、助成金によって実施した教育活動に対する報告書(財団指定様式 A4×2枚)を提出していただき、ポータルサイトにて公表します。また併せて、助成金の使途明細及び領収書(写し)も添付していただきます。

募集内容の詳細や過去の支援校の取組み、申請書類などのダウンロードは、交通環境学習ポータルサイトを参照ください。

MM教育 教員支援

検索



### 問い合わせ・申請書提出先

公益財団法人  
交通エコロジー・モビリティ財団  
企画調査部 田中・岡本

〒102-0076  
東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル10F  
TEL:03-5844-6268 FAX:03-5844-6294  
E-mail:info@mm-education.jp  
財団HP:https://www.ecomo.or.jp